

3/17 朝日新聞(朝刊)

最低価格と同額 7件

精華町官製談合 逮捕の業者応札

精華町発注の下水道工事の入札で情報を漏らしたとして、府警が業者との契約を担当する係長を官製談合防止法違反容疑で逮捕した事件で、情報を得て落札したとされる精東建設(同町)が非公表の最低制限価格すばりでの応札を繰り返していたことがわかった。捜査関係者らが明らかにした。府警は16日、町役場や係長宅などを家宅捜索し、関係資料を押収した。



家宅捜索に入る府警の捜査員。精東建設(同町)が非公表の最低制限価格すばりでの応札を繰り返していたことがわかった。

捜査2課によると、町監理課係長の北庄司篤容疑者(44)＝同町精華台4丁目＝は、昨年10月26日に開札した工事で、精東建設社長の岩井勝則容疑者(54)＝奈良市押熊町、公契約関係競売入札妨害容疑で逮捕＝に最低制限価格(1567万6千円)の根拠となる金額を漏らした疑いがある。同社はこの価格より3千円多い額で応札し落札していた。技師の北庄司容疑者は2016年4月に監理課に異動。17年4月に主幹(係長)になり、土木工事で業

3/16 朝日新聞(朝刊)

■係長、入札情報漏らした疑い

京都府精華町発注の下水道工事入札で、最低制限価格の根拠となる金額を漏らしたとして、府警は15日、町監理課主幹(係長)の北庄司篤容疑者(44)＝同町精華台4丁目＝を官製談合防止法違反の疑いで逮捕し、発表した。落札した精東建設(同町)社長の岩井勝則容疑者(54)＝奈良市押熊町＝も公契約関係競売入札妨害の疑いで逮捕した。府警は認否を明らかにしていない。捜査2課によると、北庄司容疑者は昨年10月26日開札の工事で、岩井容疑者に最低制限価格(1567万6千円)の根拠となる金額を漏らした疑いがある。入札には3社が参加し、精東建設は最低制限価格より3千円多い額で応札した。

者との契約や工事後の検査、業者への支払いを担当してきた。町幹部は「まじめできっちり仕事をやるタイプ。どこで業者と特別な接点があったのかわからない」と驚いていた。

町がホームページで公表している17年2月以降の入札結果によると、精東建設が参加したのは逮捕容疑の入札も含め21件。このうち7件(17年1件、18年6件)は最低制限価格と同額で応札し、2件(17年7月、昨年1月)は落札し

た。ほかの5件は同じ額を入れた他社が抽選で落札した。同額以外でも、5千円以内の差での同社の応札は11件あった。16年12月に開札した工事でも同額の落札だった。木村要町長は「信頼を著

しく損なうことになり、深くおわび申し上げる」とのコメントを出した。

精華・工事入札情報漏えい疑い

町役場など家宅搜索

府警

精華町発注の排水路整備工事で入札情報を漏らしたなどとして、官製談合防止法違反の疑いで町職員が逮捕された。公契約関係競売入札妨害の疑いで建設会社社長が逮捕された事

役場や建設会社など町内の5カ所を家宅搜索し、入札工事関係書類やパソコンなど計約230点を押収した。このうち町役場には午前11時半ごろ、段ボール箱を持った捜査員ら二十数人が入り、容

疑者の職員が働いていた事業部監理課を中心に搜索。書類など83点を押収した。搜索は約6時間に及んだ。閉庁日のため役場には職員や訪れる住民はほとんどいなかったが、庁舎2階の町立図書館の利用に訪れた80

代男性は「町民として事件は恥ずかしい。緩みがあったのではないかと。同じことが起こらないよう、これを教訓に町は再発防止に取り組んでほしい」と話した。

15日の職員逮捕を受けて精華町は当初、木村要町長の臨時記者会見を16日に予定したが、家宅搜索を受け、17日午後延期した。

(赤嶺可有)

2/17 京都新聞(朝刊)

2/16 京都新聞(朝刊)



家宅搜索のため精華町役場に入る府警の捜査員 (16日午前11時40分ごろ、精華町南橋入裏)

精華・排水路整備工事入札情報漏えいで町主幹逮捕

容疑で府警 妨害疑い会社社長も

京都府精華町発注の排水路整備工事で入札情報を漏らしたなどとして、京都府警捜査2課と中京署などは15日、官製談合防止法違反の疑いで精華町事業部監理課主幹の北庄司篤容疑者

(44) 精華町精華台4丁目を、公契約関係競売入札妨害の疑いで同町の建設会社「精東建設」社長岩井

勝則容疑者(54) 奈良市押熊町をそれぞれ逮捕した。府警は2人の認否を明らかにしていない。

逮捕容疑は2018年10月、精華町内で実施された排水路整備工事の一般競争入札を巡り、北庄司容疑者

が岩井容疑者に最低制限価格の根拠となる非公表情報を教えて精東建設に落札さ

せ、公正な入札を妨害した疑い。府警などによると、入札には3社が参加。精東建設は、最低制限価格と3千円差の1567万9千円で落札した。北庄司容疑者は当時、公共工事の入札事務を担当し、同価格を知りうる立場だった。府警は

返りがなかったかなど、入札の経緯を捜査している。町が公開している入札結果情報によると、精東建設と岩井容疑者の親族が経営する別の建設会社は14年度以降、町発注の工事18件(共同企業体2件を含む)を計約9億7千万円で落札。うち8件は非公表の最低制限価格と同額で落札し、残る10件も差額は千円~1万3千円だった。

精華町の木村要町長は「町民に多大なる迷惑をおかけするとともに、信頼を著しく損ない、深くおわ

格の根拠となる非公表情報を教えて精東建設に落札さ

せ、公正な入札を妨害した疑い。

午後10時前の職員逮捕の発表を受け、深夜の精華町役場では幹部らが対応に追われた。同10時すぎに大植辰治副町長が役場に駆け付け、詰めかけた報道陣に「町民の信頼を裏切ってしまう、非常に申し訳ない。明日(16日)会見しておわびを申し上げたい」と話し、足早に庁舎に入った。

びする。警察の捜査に全面的に協力し、今後は再発防止に向け早急に対処を行い、一刻も早く町民の信頼を回復できるように、職員一同全力で取り組む」とのコメントを出した。

を著しく損ない、深くおわ

役場や関係先 家宅搜索

容疑の入札 制限価格と3000円差

精華町発注の公共工 事の入札で価格情報を 建設業者に漏らし、落

札させたとして、同町 專業部監理課主幹の北 庄司憲吾容疑者(44)と、

落札業者と同町の「精 東建設」社長、岩井勝 則容疑者(54)が15日

夜、高懸談合防止法違 反容疑などで逮捕され た事件で、府警捜査2 課は16日、同町役場な ど関係先計5カ所を家 宅搜索した。

今回の逮捕容疑とな った昨年10月実施の下

水道整備工事の入札 で、精東建設は最低制 限価格とわずか300 0円差で落札してい た。同課によると、精 東建設が落札した同町 発注工事は他にも数件 あり、いずれも最低制 限価格に近かったとい

紙面編集 王地 紀子

に当惑した様子をみせ た。同町光台の主婦(62)は「談合なんて二 ユースで見るような出 来事だと思っていた。 こんな小さな町で起こ るなんて」と驚いた様 子だった。同町菱田の 無職男性(67)は「信じ ない話だと憤り、「真 想を全く明らかにして ほしい」と厳しい表情

で語った。

木村要町長は15日 夜、「信頼を著しく損 なることとなり、深く おわびを申し上げま す。真相究明に向け、 捜査に全面的に協力 し、再発防止に向け早 急に対処します」との コメントを出した。木 村町長は16日に記者会 見を開く予定だったが、 府警の家宅搜索に伴い 17日に延期した。

【大東浩紀】

町役場では16日午前 11時40分ごろ、段上

よりよき技術
すばらしい製品
印刷・ゴム印
ハガキ・名刺・封札

森田印房

印・東 堺 陸 尾 町 府
TEL (221) 457890
FAX (221) 8149

ル箱などを持った捜査 員約20人が庁内に入 り、パソコンや入札関 係の書類などを押収し た。府警は他に精東建 設なども家宅搜索し た。

町職員の逮捕を受 け、同町の住民は一樣



精華町役場に家宅搜索に入る府警捜査2課の 捜査員ら。一精華町役場

京都精華町職員 談合容疑で逮捕

落札業者社長も

京都府精華町発注の 公共工事の入札で価格 情報を建設業者に漏ら し落札させたとして、 府警捜査2課は15日、 同町專業部監理課主幹 の北庄司憲吾容疑者(44) 11同町精華台4-1を官 製談合防止法違反容疑 で、落札業者の同町の 「精東建設」社長、岩井 勝則容疑者(54)11奈良 市押熊町1-1を公契約関

係業票入札妨害容疑で それぞれ逮捕した。捜 査2課は2人の認否を 明らかにしていない。

逮捕容疑は昨年10月 16〜23日、同町発注の 下水道整備工事の入札 を巡り、北庄司憲吾 氏が最低制限価格の根拠 となる基準価格を岩井 容疑者に漏えい。同26 日、精東建設が最低制 限価格の1567万6 000円とほぼ同額で 落札したとされる。

府警捜査2課による と、北庄司憲吾は2

017年4月から公共 工事の入札事務を担当 する監理課に勤務し、 最低制限価格の決裁な どをする立場だった。

【大東浩紀】

2/16 毎日新聞(朝刊)

2/17 毎日新聞(朝刊)

精華町官製談合 最低価格入札繰り返す

精華町発注の排水路整備工事入札を巡る官製談合事件で、公競売入札妨害容疑で逮捕された建設会社社長岩井勝則容疑者(54)の会社が、他の町発注事業でも、最低制限価格と同額に近い金額で入札を繰り返していたことが16日、京都府警などへの取材で分かった。一部は落札しており、府警は不自然な入札が

ないか詳しく調べる。府警は16日、町役場などを家宅捜索した。

すべての人に心あたる葬儀

天和会館 葬儀一式車
 総合葬祭式場 天和会館 00743-63-1187
 天理葬儀社 00743-62-1187
 天和会館 00742-30-1187
 天和会館 00742-43-0008
 天和会館 00742-48-2000

精華町が公開する入札結果によると、岩井容疑者の会社は平成29年7月の道路改良工事の入札で、最低制限価格と同額で落札。他にも30年にかけて、落札しなかったものも含め最低制限価格と同じか数千円差の入札が複数あった。府警は、昨年10月の入札で最低制限価格に近い金額を岩井容疑者に漏らしたとし

て、官製談合防止法違反容疑で町監理課主幹北庄司篤容疑者(44)を逮捕。見返りの有無なども調べる。府警によると、北庄司容疑者は入札事務を担当。価格に関する情報を知り得る立場で、29年4月から業者選定の書類などを決裁する立場だった。

落札最低価格と同額2回

精華町官製談合 代表逮捕の業者

精華町発注の排水路整備工事を巡る官製談合事件で、入札情報を得た疑いのある業者が、2017年4

月以降だけで計2回、非公表の最低制限価格と同額で



町役場の捜索に入る捜査員ら(精華町で)

工事を落札していたことがわかった。府警は16日、町役場など5か所を捜索。他に入札情報の漏えいがなかったかを調べる。

事件では、昨年10月の入札で最低制限価格を算出する途中段階の金額を漏えいしたとして、町監理課主幹の北庄司篤容疑者(44)と、「精東建設」(精華町)代表の岩井勝則容疑者(54)が逮捕された。

北庄司容疑者は1993年採用。2017年4月から現職で、入札情報を決裁する立場だったという。町が公表している入札結果では、精東建設は逮捕容疑以

入札情報漏えい 容疑の職員逮捕
 京都・精華町
 京都府精華町が発注した排水路整備工事の入札情報を業者に漏らしたとして、京都府警は15日、町監理課主幹の北庄司篤容疑者

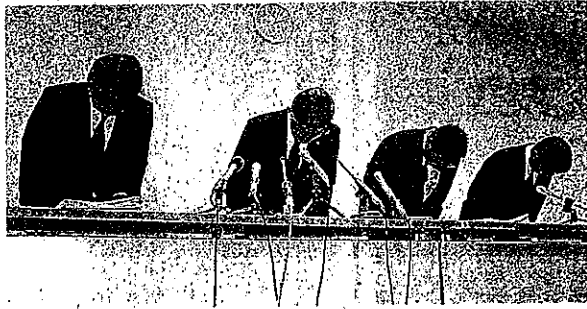
(44)を官製談合防止法違反容疑、業者側の「精東建設」を最大50%引

「(精華町)代表の岩井勝則容疑者(54)を公契約関係競売入札妨害容疑で逮捕した。府警は認否を明らかにしていない。発表では、北庄司容疑者は昨年10月の入札で、岩井容疑者に最低制限価格(非公表)を算出する途中段階の金額を教え、精東建設に落札させた疑い。入札には3社が参加し、精東建設が1567万9000円で落札した。最低制限価格との差は8000円だった。府警は、北庄司容疑者への謝礼の有無などについても調べる。

「痛恨の極み」町長謝罪

第三者委で原因究明へ

精華町発注の排水路整備工事で入札価格をめぐり、町職員が官製談合防止法違反の疑いで府警に逮捕されたことを受け、町は17日、役場で記者会見を開いた。木村要町長は「誠に申し訳なく、痛恨の極み」と謝罪し、半蔵町2丁の第三者調査委員会を設置して原因究明を進めようとした。再発防止策を講じる考えを示した。



町役場の記者会見で、逮捕された監理課主幹北庄司(左から2人目)ら。木村要町長(左から3人目)も参加した。

同部内外の管理職6人は職責も分からないが参考値に基づく価格として、町長は「業者側の(価格の)積算能力が向上均値から最低制限価格を定める。このため、最低制限価格と同額で開札まで最低制限価格を落札された。官製談合

の差別化を疑う報道陣の質問に、大塚辰治副町長は「業者側の(価格の)積算能力が向上均値から最低制限価格を定める。このため、最低制限価格と同額で開札まで最低制限価格を落札された。官製談合

(大竹逸朗)

官製談合 精華町長ら陳謝

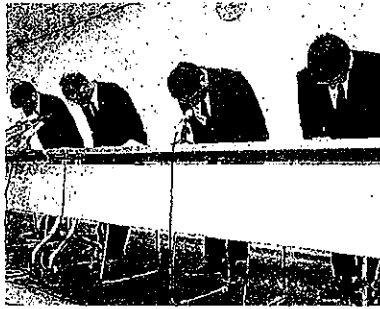
精華町発注の排水路整備工事を巡る官製談合事件で、木村要町長ら町幹部が17日、町役場で記者会見を開き、町政への信頼を失墜させたこと陳謝した。有識者

らによる第三者委員会を設け、検証と再発防止策の検討を進めることも明らかにした。

木村町長は「町政の最高責任者として町民のみならず、まにおわび申し上げる。住民のため公正な公共工事を遂行できるよう組織を挙げ、再発防止策を考えたい」と述べた。

事件では、入札の最低制限価格を算出する途中段階の金額を業者に漏えいしたとして監理課主幹の北庄司(44)が官製談合防止法違反容疑で逮捕された。会見に出席した幹部らによると、北庄司容疑者は「勤務態度はまじめで非常にきちょうめんな性格だった」といい、業者と特に親密な様子もつかげなかったという。

2/18 朝刊 読売



職員の逮捕を受け謝罪する精華町の木村要町長(左から2番目)ら—精華町役場で

町長「信頼裏切った」

精華町 第三者委で制度点検へ
精華町発注の公共工事、町長が直観検査防止法
事の入札で価格異常を、適度容疑を指摘された
職員が謝罪し、町長「信頼裏切った」

精華町発注の公共工事、町長が直観検査防止法
事の入札で価格異常を、適度容疑を指摘された
職員が謝罪し、町長「信頼裏切った」



官製談合 精華町長が謝罪

第三者委設置、入札見直しへ

精華町発注の排水設備 17日、町役場で記者会見
工事入札をめぐる官製談合、監理課主任の北庄司容
疑者(44)が逮捕されたことを受け、町長が謝罪し、
第三者委を立ち上げ、入札制度の見直しを目指す意向を示
した。

精華町発注の排水設備 17日、町役場で記者会見
工事入札をめぐる官製談合、監理課主任の北庄司容
疑者(44)が逮捕されたことを受け、町長が謝罪し、
第三者委を立ち上げ、入札制度の見直しを目指す意向を示
した。

精華町、有識者委設置へ
官製談合で町長が謝罪

精華町発注の排水管工事
の入札で、落札した同町の
精東建設に情報を漏らして
いたとして、町監理課係長
の北庄司容疑者(44)が官
製談合防止法違反容疑で逮
捕されたを受け、木村要
町長は17日、記者会見で謝
罪し、有識者の調査委員会
を設ける方針を示した。



記者会見で謝罪する木村要町長(精華町役場)

に異動してきた2016年
度以降、非公表の最低制限
価格とびつたりの額や数千
円の差で、精東建設が5件
の工事を落札した。大植辰
治副町長は「多いという認
識はない。どの業者も入札
価格を決めるための積算能
力が上がっていると考えて
いた」と話した。

調査委員会のメンバー
は、研究者や弁護士らを想
定している。制度の不備を
調べて改善策を練り、北庄
司容疑者が監理課に所属し
て以降の入札を中心に問題
がなかったかを確かめる。
北庄司容疑者と同社社長の
岩井勝則容疑者(54)が公
契約関係競争入札妨害容疑
で逮捕IIの特別なつながら
はわかっていない。通常の
場合、接触する機会は工事
完了後の検査のときくらい
という。
府警は17日、2人をそれ
ぞれの容疑で送検した。
(伊藤誠、自見はる菜)

木村町長は冒頭で、「職
員が秘密事項の情報を漏ら
して逮捕されたことは痛恨
の極み。職員倫理の向上に
取り組む、信頼回復に努め
る」と謝罪。
当局、入札事務を担当し
ていた北庄司容疑者が、工
事完了後の検査で業者と接
触する立場でもあったと
して、「検査と入札を監理課
が行うことと問題があっ
た」と述べた。
また、町幹部によると、
公契約関係競争入札妨害容
疑で逮捕された岩井勝則容
疑者(54)が社長を務める建
設(株)は、

株式会社は、平成28〜30年度
に5つの町発注事業を落札
制限価格と同額から千〜3
千円上回る価格で落札して
いたという。
事件を受け、木村町長は
今後、半職経験者や弁護士
ならぬ第三者委員を
を設け、原因究明ととも
に組織再編や入札制度の見
直しを目指すとしている。
府警は17日、両容疑者を
送検した。

交通情報
取り締まり (18日)
▽文京区(池袋、堀川通) 上京
区(三軒茶屋、池袋) 府道池袋
線(池袋)。

最低価格と同額・近接落札

16年度から増加

精華町官製談合

精華町発注の排水管工事の入札で情報漏らしたとされる官製談合事件で、情報を得て落札したとされる同町の精東建設が2016年度以降、非公表の最低制限価格とびったりか数千円差での落札を増やしたことがわかった。町が取材に明らかにした。官製談合防止法違反容疑で逮捕された町監理課係長の北庄司篤容疑者(44)は16年春、同課に着任。府警は係長と同社の接

■精東建設が参加した精華町発注工事

年度	入札	最低制限価格と同額での応札	5千円以内の差での応札(同額除く)	落札
2013	7	0	1	2
14	2	1	0	1
15	7	0	3	0
16	9	1	6	2
17	10	3	6	2
18	12	4	6	1

点を調べている。監理課などによると、1991年設立の精東建設は13～15年度、計16件の入札に参加し、3件を落札。うち1件(14年11月に開札)は最低制限価格と同じ額だった。ほかの2件は1万2千～1万7千4百円の差があった。

同社は16年度以降に31件の入札に参加し、5件の工事を落札。うち3件(16年12月、17年7月、昨年1月

に開札)がびったりの額で、ほかの2件も2千～3千円の差だった。抽選で外れて落札できなかった工事を含め、同額での応札は8件だった。

同額や5千円以内の差での応札は、13～15年度は3割だったが、16～18年度は8割を超えていた。

府南部のある建設会社の入札担当者は「最低制限価格もその根拠となる数字も公表していないのに、びったり当てるのは至難の業。これだけ多いのは不自然だし、異常」と話す。

町は17日の記者会見で、入札業務と完了検査業務の両方を監理課が担当しており、業者と接触する機会が増したことに問題があったとの考えを示した。京都市の場合、土木工事の入札は行財政局契約課が担当し、完了検査は建設局が担当してわけている。府警は、精東建設社長の岩井勝則容疑者(54)を公契

約関係競争入札妨害容疑で逮捕している。

2/21 朝日新聞朝刊

2/21 朝日新聞朝刊

首長会見から

22日・西脇隆俊知事

「公務員という立場で法令違反に関わることはあってはならない。町政に對する信頼を失い、業務執行上支障が出る場合もあり、遺憾だ。町が設ける第三者委員会できちんと原因を究明した上で、実効性のある再発防止対策をとってほしい。他の市町村でもしっかりと取り組んでもらいたい」

沖縄県で米軍普天間飛

2/3 京都新聞朝刊

行場の名護市辺野古移設を巡る県民投票が24日に行われる。結果に関わらず移設工事を進める政府の姿勢をどう考えるか。「沖縄の基地負担は大きく、県民の心に寄り添うこと

という意味で住民投票の結果が一定考慮されるのは当然。一方、住民意見の反映には議会の仕組みや首長選などさまざまなルートがあり、住民投票は判断材料の全てではない」

2/29 毎日新聞朝刊

官製談合防止へ 第三者委条例案

精華町が提案方針

精華町は26日、町主幹が官製談合防止法違反容疑で逮捕された問題で再発防止に向けた第三者調査委員会設置を3月定例議会に提案する方針を明らかにした。近く条例案をまとめ3月4～28日の会期

中に提出し、3月中旬に第1回の委員会開催を目指すという。木村要町長は「一刻も早い信頼回復に向け、再発防止策を急ぎたい」と話した。

この日の定例記者会見で木村町長と岩橋威夫総務部長が説明した。調査委は学識経験者で構成し、町職員は含めず、独立した形で原因究明と入札方法の再検討を含む再発防止策の策定を行う。町は10日、一般会計133億4000万円(前年度当初比0.8%増)の2019年度当初予算案を、3月

議会に提出する30議案を発表した。歳入は町税で同2.6%増の55億9948万円を見込む。主な事業は、祝園西地区での排水路整備8080万円▽市内3中学校での生徒用パソコン

更新1400万円など。【鈴木健太郎】

2/29 京都新聞朝刊

第三者委設置し

来月初会合方針

談合問題で精華町

精華町は26日、町発注の排水路整備工事で入札情報を漏らしたとして町職員が官製談合防止法違反の疑いで逮捕されたことを受け、町議会3月会議に第三者調査委員会の設置条例案を提出し、3月中旬に初会合を開く方針を明らかにした。木村要町長は「二日も早い信頼回復のため努力したい」と話した。

2/27 読売新聞朝刊

精華町年度内入札停止

精華町は26日、町発注の排水路整備工事を巡る官製談合事件を受け、今年度中に予定していた工事4件の入札を見合わせていることを明らかにした。町は近く設置予定の第三者委員会による調査結果や再発防止策がまとまるまで、緊急性の高い災害対策以外は先送りするとしている。

第三者委設置

条例案を提出

官製談合巡り精華町

精華町発注の排水管工事の入札で情報を漏らしたとされる官製談合事件を受け、町は4日の町議会本会議で、第三者による調査委員会を設ける条例案を提出した。調査委で事件の原因究明と再発防止策のとりまどめをするという。

条例案によると、調査委は有識者や弁護士5人以上で構成される。総務課によると現在、委員の人選と会

3/5 朝日新聞 朝刊

合の日程調整を進めているという。この日の本会議冒頭、木村要町長は「町政の最高責任者としての管理責任を痛感している。町民の信頼を回復できるように全力で取り組む」と述べた。

この事件では、町監理課

係長の北庄司篤容疑者(44)が官製談合防止法違反容疑で、工事を落札した精東建設社長の岩井勝則容疑者(54)が公契約関係者入札妨害容疑で、それぞれ府警に逮捕された。

(伊藤誠)

官製談合を調査

第三者委設置へ

精華町が条例案

精華町は4日、町発注の排水路整備工事を巡る官製

3/5 読売新聞 朝刊

談合事件を調査する第三者委員会の設置条例案を町議会に提案した。8日の本会議で議決し、28日の閉会日までに初会合を開く方針。

委員会のメンバーは、学識経験者、弁護士、会計士ら5人を予定。実態把握と原因究明、再発防止に向けた提言を行う。

木村要町長は、この日開会した議会での施政方針演説で、「昨年来、入札制度の見直し作業を進めてきたにもかかわらず職員が逮捕され、町政の最高責任者として責任を痛感している。職員倫理の向上を進め、町民の信頼を回復出来るよう全力で取り組んでいく」と述べた。

保釈へ社員

役場で現金やり取りが

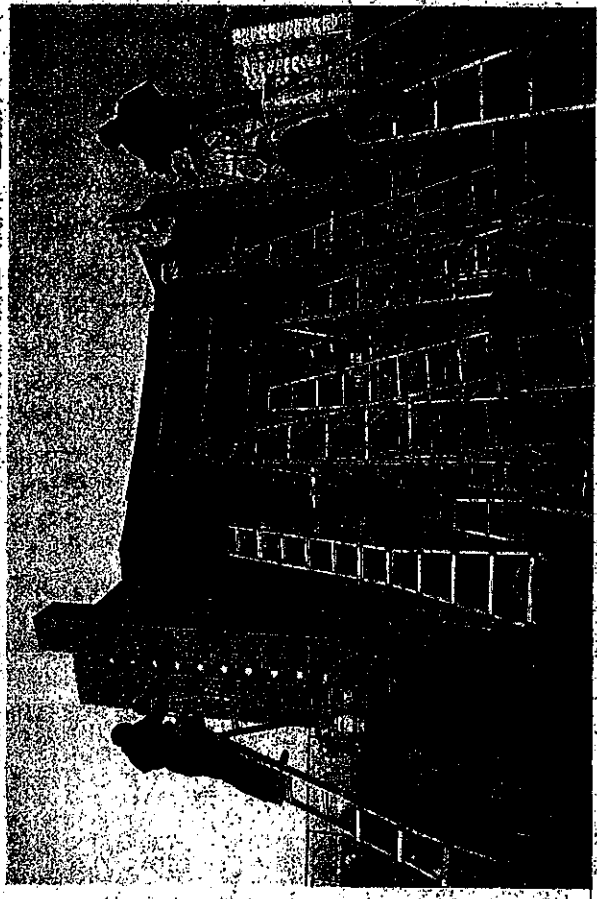
精華町官製談合 立件視野に捜査

京都府精華町が発注した排水路整備工事の入札をめぐる官製談合事件で、同町監理課主任、北庄司廣登疑者(44)＝官製談合防止法違反容疑で逮捕し＝同町の建設会社精華建設社長、岩井勝則疑者(54)＝公契約関係露元社妨害容疑で逮捕し＝が昨年12月ごろ、現金のやり取りをしていた疑いがあることが5日、捜査関係者への取材で分かった。

京都府警は、この金銭授受が人札情報を漏らしたことに對する謝罪の可能性があるとみて、贈収賄容疑での立件を視野に裏付け捜査を進めている。今回の事件では、昨年10月に精華町が実施した一般競争入札で、北庄司廣登疑者が岩井勝則疑者に最低制限価格の算出根拠となる金額を漏らし、精華建設に最低制限価格に極めて近い15.6

7万9千円で落札させた疑いが持たれている。捜査関係者によると、昨年12月ごろ、岩井勝則疑者が町役場内で、北庄司廣登疑者に数万円以上の現金を手渡した疑いがあるという。同社や関連会社は他の工事の入札でも最低制限価格と同額の極めて近い価格で落札しており、府警は押取した資料を分析するなどして捜査している。

東京拘置所前で、日産自動車の前会長、カルロス・ゴーン被告の保釈を待ち構える報道陣。＝5日午後、東京都葛飾区(隅川一也撮影)



ゴーン被告 拘束3カ日

集まった記者らは100人以上。経営危機に陥った

出で書いている。要するに「1カ月もたないうちに保釈を実現させた」と

られた。こうした「条件」に示すは、どうも意図を示して

が説得した後にいつかの方がいい

保証金 資産状況で高額に

東京地裁が5日、保釈をしたカルロス・ゴーン被告の保証金は、資産状況を踏まえて取引法違反事件で2億円の事件で8億円の計10億円。保証保証金は被告が保釈した場合に没収するなどの場合、没収する延べの出頭、刑罰の裁量制度。刑事訴訟法では「に足りる相当な金額」被告の資産状況にほぼ相当する。昨年12月に検察側は側近で日産前代表取締役、ケリー被告(62)＝金融取引法違反で起訴しは、7千万円。過去最高額は、食肉卸グループの牛肉偽造事件で20億円。他に高額だった金融専門会社(住専)を15億円、刃物法違反事件した指定暴力団山口組の10億円など。村上ファンド事件の村上ファンドは5億円、同ファンドの反事件の堀江貴文元社長ツキト事件の田中角栄5億円だった。

過去最高額は

主な高額を保釈保証金	金額	事件
20億円	岩井勝則	偽造事件
15億円	末野謙一	住専をめぐる資産隠し事件
10億円	カルロス・ゴーン	特別責任などの事件
10億円	藤田 建	山口組共同所持事件
6億円	許 永	中・トイトマン事件
5億円	村上 世彰	村上ファンド事件
3億円	堀江 貴文	村上ファンド事件

精華町職員を再逮捕

京都官製談合 収賄疑い

京都府精華町が発注した工事の入札をめぐる官製談合事件で、町職員が業者に価格情報を漏らす見返りに現金を受け取ったとして、京都府警は8日、加重収賄

などの疑いで町監理課主幹、北庄司篤被告(44)官製談合防止法違反罪で起訴し、贈賄容疑などで建設会社「精東建設」社長、岩井勝則被告(54)「公契約関

係競争入札妨害罪で起訴し、再逮捕した。府警は認否を明らかにしていない。北庄司容疑者の再逮捕容疑は、平成30年10月と11月に開かれた排水路整備工事と下水道工事の一般競争入札で、非公開の最低制限価格の算出根拠となる参考価格を岩井容疑者に漏洩。謝礼として12月ごろに現金

数十万円を受け取った。また別の入札でも参考価格を漏らし、同年6月ごろに数十万円を受け取ったとしている。10月の入札では精東建設が落札、11月の入札では岩井容疑者が美質経営する別会社が落札しており、府警は12月の謝礼にちなが

3/9 産経(朝刊)

3/9 京都(朝刊)

精華町談合 収賄容疑で町職員再逮捕

府警、贈賄疑いの社長も

京都府精華町発注の下水道工事の入札をめぐる官製談合容疑事件で、京都府警捜査課と中京署などは8日、加重収賄などの疑いで、精華町監理課主幹北庄司篤

否を明らかにしていない。北庄司容疑者の再逮捕容疑は、2018年6〜12月、精華町内で実施された2件の下水道工事の一般競争入札を巡り、最低制限価格の根拠となる非公表情報を岩井容疑者に伝え、精東建設と岩井容疑者の親族が経営する土木工事会社「岩井組

町が公開している入札結果情報によると、精東建設と岩井組は14年度以降、町発注の工事18件(共同企業体2件を含む)を計約9億7千万円で落札。うち8件は非公表の最低制限価格と同額で落札し、残る10件も差額は千円〜1万4千円だった。

府警によると、北庄司容疑者は、町発注工事の入札業務などを通じて岩井容疑者と知り合ったという。府警は岩井容疑者が北庄司容疑者に対し、非公表情報の提供を依頼していたとみて

に最低制限価格と近接する価格で落札させるなどした上、謝礼として現金数十万円を受け取った疑い。岩井容疑者は、非公表情報を教えてもらった見返りに北庄司容疑者に現金を渡すなどした疑い。

加重収賄疑い 再逮捕

精華町官製談合で係長

精華町発注の排水管工事の入札で情報を漏らしたとされる官製談合事件で、落札業者から数十万円を受け取ったとして、府警は8日、町監理課係長の北庄司篤容疑者(44)と同町IIを加重収賄容疑などで再逮捕

し、発表した。府警は認可を明らかにしていない。

捜査2課によると、北庄司容疑者は、非公表の最低制限価格の根拠となる金額を教えた見返りに昨年6、12月、落札した同町の精東建設社長の岩井勝則容疑者

(54)奈良市IIから計数十万円を受け取るなどした疑いがある。同課は岩井容疑者を贈賄容疑などで再逮捕した。押収資料などから現金の授受を裏つけたとしている。

同課は、昨年12月に受け取ったとされる現金について、精東建設が同10月に最低制限価格と3千円差で落札した排水路工事と、同11月に岩井容疑者の妻が社長

の建設会社が8千円差で落札した下水道工事の見返りとみて調べている。昨年6月の現金については、同4、5月に妻の会社が加わる共同企業体が各1件の工事を落札しており、この工事と関係があるとして捜査している。

北庄司容疑者が2016年4月に監理課に着任して以降、最低制限価格と同じか数千円差での精東建設の応札が増えた。同額や5千円以内の差での応札は、13

15年度は3割だったが、16、18年度は8割を超えていた。

京都地検はこの日、北庄司容疑者を官製談合防止法違反罪、岩井容疑者を公契約関係競争入札妨害罪で起訴した。

二二一入短信

◆第三者調査委の設置条例案可決 精華町議会は8日の本会議で、町発注の排水管工事の入札で町監理課職員が情報を漏ら

したとされる官製談合事件を受けて町が提出していた、第三者による調査委員会の設置条例案を、全会一致で可決した。町は今月中の初会合開催をめざし、人選を急いでいる。

本会議の質疑で、議員から「委員会が公開されるのか」との質問があった。町側は「調査委が自主的に判断することが前提」としたうえで、「個人情報や捜査にかかわる情報も出てくる可能性がある」と、リアリティをすべて公開するのは難しいとした。

3/9 朝日 (朝刊)

3/9 読売 (朝刊)

加重収賄容疑など 精華町職員ら逮捕

官製談合事件で

精華町発注の排水路整備工事を巡る官製談合事件で、業者に入札情報を漏らした見返りに現金を受け取ったとして、府警は8日、町監理課主幹の北庄司篤容疑者(44)を加重収賄などの容疑で、業者側の「精東建設」(精華町)代表の岩井勝則容疑者(54)を贈賄な

どの容疑で再逮捕した。発表では、北庄司容疑者は複数の町発注工事の入札に関する非公表情報を漏らした見返りに、昨年6月と同12月にそれぞれ数十万円を岩井容疑者から受け取るなどした疑い。

地検は8日、談合事件について両容疑者を起訴した。木村要町長は「町政への信頼を裏切り、深くおわびする」とコメントした。

**精華町官製談合
町主幹を再逮捕**

業者から現金数十万円を受け取ったとして、府警捜査2課は8日、同町事業部監理課主幹の北庄司篤容疑者(44)と、同町精華台4を加重収賄などの容疑で、同町の建設会社「精東建設」社長の岩井勝則容疑者(54)と奈良市押熊町一を贈賄などの容疑でそれぞれ再逮捕した。府警は2人の認否を明らかにしていない。

再逮捕容疑は、今年度の町発注の下水道整備工事など複数の入札で、北庄司容疑者が最低制限価格の根拠となる金額を岩井容疑者に漏らした謝礼として、昨年6月と12月の2回に現金計数十万円を受け取ったとしている。

府警は、北庄司容疑者が携帯電話で価格情報を伝え、現金は町内で直接手渡されたとしている。

京都地検は8日、昨年10月の価格情報漏えいについて北庄司容疑者を官製談合防止法違反罪で、岩井容疑者を公契約関係競売入札妨害罪でそれぞれ起訴した。【大東祐紀】

3/9(土) 毎日新聞